

三鷹市立高山小学校 令和5年度【生活】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>◎1学期は1年生と2年生合同の「学校探検」を2年生中心に行うことができた。今年度は、コロナ禍以前のように2年生との交流や幼稚園、保育園との交流を考え実施していきたい。</p> <p>◎一人一鉢のアサガオの花の栽培を行い、種まきから成長、開花、種取りまでの継続観察を行ったり、リース作りをしたりして植物に興味をもたせることができた。</p> <p>◎季節ごとに校庭の植物を観察し、自然を味わう活動を行い、それぞれの季節に見えられない景色の変化や、植物の変化などに気付かせた。</p> <p>◎日本の伝承遊びについて、遊び方を学び、友達や家族と遊んだり、楽しんだりすることにより、学ぶ楽しさや教えあう良さに気付かせた。</p>	<p>◎ベア学級を設定し、2年生と「学校探検」を行うことができた。2年生からそれぞれの教室の説明を聞きながら、各施設を理解することができた。学校に対する興味・関心を高めるとともに、2年生の姿を見て、「自分もそうになりたい。」という目標をもつことができた。</p> <p>◎アサガオを責任をもって育て、種まきから成長、開花、種取りまでの継続観察を行うことにより、植物の一生について考えられた。</p> <p>◎植物の成長を観察し、気付いたことや自分の考えを観察カードに絵と文章でまとめる活動を行っているが、文字や文を書くことが難しい児童がいる。また、より理解を深めるために蕾や花、実の観察、花を使った色水づくりや染め出しの体験活動などを取り入れられるとよかった。</p> <p>◎季節ごとに校庭の植物を観察したり、自然を味わう活動を行ったり、季節特有の景色の変化や、植物の変化などに気付かせたりした。また、友達同士で自分の経験や気付きを伝え合う活動を取り入れる。</p> <p>◎日本の伝承遊びを学び、友達や家族と遊んだり、楽しんだりすることができるようにする。人と関わって遊ぶことにより、達成感や学ぶ楽しさや教えあう良さに気付かせたい。</p>	<p>◎「学校探検」では、見付けたものに関心をもつだけでなく、職員に質問をしたり見付けたものをカードに書いたりして、学校の施設の役割に気付いたり親しみをもったりする機会を増やしたい。また、今後も2年生との交流を実施する。11月には、2年生とのベア学級ごとに「あそびランド」を実施予定。3学期には1年生と未就学児との機会を設け、2年生との経験を生かした活動ができるようにする。</p> <p>◎アサガオの花や実の観察、体験的な活動の充実を図るために指導計画の見直しや記録カードの工夫を行う。朝顔以外にも、ホウセンカやヒマワリ、わたやフウセンカズラなどのほかの植物も育てることで、芽の出方や花の咲き方、実のつき方の違いに気付かせる。また、自分の観察をさせることで、どこに着目するのか、何が変化したのかを見極める力を付けていく。</p> <p>◎季節を感じる学習では、四季を感じられるよう、1年間を通して活動を行う。振り返りを行うことにより、感じたことを明確にする。</p> <p>◎昔遊び(けん玉・こま・あやとり・お手玉・カルタなど)に触れる機会をつくり、学びを通して伝承文化の良さや、人と触れ合ったり楽しんだりできるよるにする。3学期には、幼稚園・保育園の児童を招待し「むかしあそびランド」を計画する。また、昔遊びができるようになったことを家族に話したり、一緒に遊んだりできるように学習計画を工夫していく。</p>
第2学年	<p>◎井の頭自然文化園での学習は、意欲的に行った。しかし、グループ活動においては順に行うことは難しくあったため、遠足を休にしたほうがよい。</p> <p>◎ミニトマトの観察では、種から育てることで変化を詳しく観察することができた。観察するときの視点をはっきりさせることで、違いを見付けことができた。</p> <p>◎1年生との学校探検は、児童の意識が高まるよい機会となった。もっと、1年生と関わりあいたい気持ちも強くなり、2年生としてどんな態度が良いのかを考えるようになった。</p> <p>◎2回にわたる町探検で、自分たちの住む地域に詳しくなり、もっと知りたい気持ちを育てることができた。公共でのマナーなども併せて学ぶことができた。</p>	<p>◎今年度は井の頭自然文化園に行くことができた。園内では、グループで活動を行い約束を守って、はぐれた時などの対応もよくできていた。園内での活動時間については、時間を短縮するか課題を多めに与えるかの工夫をする必要がある。</p> <p>◎「野菜を育てよう」では、ミニトマトを一人一鉢育てた。葉の形や、実のなり方などについて、よく観察してカードに描くことができた。他の野菜と比べる時間をきちんと確保することについては、課題が残った。</p> <p>◎1年生と合同で学校探検を行うことができた。昨年度の経験があるため、見直しをもって活動ができた。1年生との関わりがもてたことで、2年生としての自覚も高まった。今後も継続して、関わり会える活動を取り入れていく。</p> <p>◎町探検に出かけたことで、より年礼の町への興味が高まった。見るだけでなく、もっとよく知るためにはどのような方法があるのかを、話し合いの中から児童に気付かせる。</p>	<p>◎井の頭自然文化園での学習はともよい機会だが、秋に行うほうが、クラス作り・グループ活動の観点からもより有効的であると考ええる。園内の見学方法についても、クイズを解くだけでなく、自分たちでクイズを考えるなど思考する活動を取り入れることで、より意欲的に観察できると考えられる。</p> <p>◎ミニトマトの観察では、種から育てることで変化を詳しく観察することができ。観察するときには、何が変化したのかを見つめる力を付けていく。また、見つけた変化を共有しあうことで、児童同士の中で学習を深める機会を作る。</p> <p>◎5月中に学校探検を終えることが、1年生にとっても有意義な学習となる。1年生に伝えたい・教えたいことを児童から吸い上げ、児童が自主的に考える時間を確保できるように、学習過程を工夫していく。また、11月のおもちゃランドで、1年生と関わり合う時には、時間に余裕をもって活動時間を確保することで1年生に伝えたい・教えたい気持ちを大切に、学習を進められるように工夫する。</p> <p>◎町探検で見つけたことをクラスでまとめることで、町の良さを再確認するだけでなく、より深く知りたいと思う興味を高めるようにする。9月下旬には、町の各施設でインタビューができる機会を設定する。</p>
第3学年			
第4学年			
第5学年			
第6学年			